

復興支援フォーラムニュース No. 128

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 (tkonno67@gmail.com)

【第126回ふくしま復興支援フォーラム/2018年4月12日・A0Z 大活動室1】

「トリチウム水問題 ～住民目線から海洋放出案と水蒸気放出案の是非を問う～」

野中 俊吉 (コープふくしま専務理事)

・経済産業省汚染水処理対策委員会トリチウム水タスクフォース委員)

I. 7年前に起きたことのおさらい

- (1) 甚大な津波被害（薄磯地区だけでも三ケタの住民が死亡）
- (2) 第一原発の爆発事故概要と放射能雲の拡散
- (3) 間一髪第二原発
- (4) 食品汚染の広範さ（静岡県HP きのこは今でも出荷制限）

II. 放射能汚染に向き合ったコープふくしまの取組

- (1) コープ会員自らの放射能学習
- (2) コープ会員による食事調査、WBC調査（食事調査は7年間で800家庭が参加）
- (3) 全国にあるコープの連携による全国外部被ばく比較調査（全国76市町村500名以上）
- (4) 被災地視察案内と他府県への出張報告交流（7年間で10,000人以上）
- (5) 福島県産農産物応援（東北6県の宅配カタログ、福島応援隊で全国販売）
- (6) 県内各地の仮設住宅でのふれあいサロン活動
- (7) コープ豆腐工場の放射能汚染損害賠償請求
- (8) 震災を風化させない目的での「夜ノ森さくらの全国植樹」（スライド有）
- (9) 廃炉費用の託送料金上乗せ問題へのパブリックコメント

III. トリチウム水タスクにかかわっての問題意識

- (1) トリチウム水タスクの報告書概要と今後の方向
- (2) 報告書の選択肢に対する私の意見
- (3) 汚染水処理対策委員会の基本方針とトリチウム水タスク報告書
- (4) トリチウム水の原水濃度
- (5) トリチウム水の量
- (6) 続く風評被害と粘り強い損害賠償請求
- (7) トリチウム水扱いに関する九州・沖縄のコープ会員の声
- (8) タンク保管がなぜ悪い、満杯はいつ、トリチウム水が安全なら東電敷地内に漏れても安全、ステーキホルダー（話し合うべき相手）は漁業者だけなの



＜第125回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等＞

3月27日（火）、福島市A O Zで第125回ふくしま復興支援フォーラムを開催しました。
川内村村長の遠藤雄幸氏から、「被災地からの脱却を目指して」をテーマに報告していただきました。年度末の多忙のなか、29名の市民が参加し、熱心な質疑応答が続きました。
同会場で、文書提出されたご意見・ご感想は以下の通りです。参考にしてください。

~~~~~

★ 大変バランスのとれた内容豊富な報告で、村長の努力と見識に敬意を表したい。この7年間の課題の多様さ、多さに圧倒される一方、よく乗り切ってこられたと感心した (S. I)

★ 被災地の復興に向けた行政の日頃の取り組みについて、苦勞の足跡を紹介していただき感謝しております。(K. F)

★ 働いて生活のかてを得るあたり前の生活をめざす⇒村長さんがこれがかかげる事は素晴らしいと思います。(H. O)

★ 現在の取り組みができていく財源が、今後も続くわけではないなか、どう活動とその財源を確保していくのか、難しい問題だと思います。(M. K)

★ 資源循環は今後重要になると思います。「自然資源」の水と太陽光発電で村をうるおし、明るくしてください。(M. T)

★ 厳しい状況だと思いますが、行政が折れない心を持つというお考えに素直に共感しました。人口減少問題は、ドラスチックに考えなければならない部分もあるのでしょうか。僕はあきらめが蔓延する社会にはなって欲しくないと思います。(Y. K)

★ イノベーション構想のように、大きな経済に期待する声も多い中で、第一次産業や自然循環を重視し、「生きがいや誇りを取り戻す」ことの大切さを強調されたことに強く共感しました。(H. S)

★ 今度は、川内村に自分の足で行ってみようと思います。小中一貫は先取りを目指して取り組んでください。(Y. I)

★ 行政トップの発言なので、背景がしっかりしていて、分かりやすかった。大変参考になりました。今後とも、時間がある限り参加したいです。(Y. M)

★ 帰還率81%は、他の避難指示解除地域にとって励みになる数字だと思います。少子高齢化

は日本の大きな課題であり、その先進地として、住民との対話を最重要視し、住民の住みよい村づくりに取り組む姿勢に感銘を受けました。何か具体的に応援出来ればと思います。(H.S)

★ 「被災地からの脱却を目指して」とのテーマに興味を持ち参加しました。川内村のこれまでの取組を詳しく知れ、大変参考になりました。20年後の未来を目の前に突き付けられたという厳しい状況だと思いますが、だからこそ、ドラスティブな取組を先駆的に取組んでいただければと思います。ぜひ、村に伺ってみたいと思います。(A.K)

★ 村のトップリーダーのお話。折れない気持で、徹頭徹尾、愚直に向き合う、話し合うという取り組みに共感。(H.S)

★ (1)#125フォーラムを開催して頂き有難うございます。(2)自治体(被災地)の色々な面での対応を苦慮され、被災地からの脱却/新しい地域づくりの状況が良くわかりました。私達は心して応援したいと思います。(3)自治体の長として種々苦悩されており、国依存はダメとおっしゃられているのですが、私は、国がもっと尊厳と人権の回復を含め、第2次大戦並みの復興対応が必要だと思います。(計算では、廃炉費除き100兆円/20年必要⇒現行33兆円/10年で終わりにしてはいけないと思います。)(T.S)

◆◆◆◆【会場カンパありがとうございました】◆◆◆◆

第125回ふくしま復興支援フォーラム(3月27日)の会場で、カンパ2,711円をお寄せいただき、ありがとうございました。ご報告とともに、御礼申し上げます。(今野)

【会計報告】(2018.4.10現在)

第1期(～2015.9)累計 収入214,746円 支出207,640円 残(繰越)7,106円

第2期(2016.10.27～)

「収入」(2018.3.11までの累計) 106,756円 (第1期 繰越 7,106円含む)  
会場カンパ(2018.3.27) 2,711円  
計 109,467円

「支出」2017.11.30まで 累計 82,940円  
計 82,940円

「残金(現在高)」 2018.4.10 26,527円

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

<予告>

第127回(2018年4月26日(木) 18時30分～20時30分)

テーマ 「双葉郡の医療体制と課題」

報告者 堀川 章仁 氏 (医師、双葉郡医師会長)

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」  
大活動室1 MAXふくしま4F(福島市曾根田町1-18)

第128回(2018年5月22日(火) 18時30分～20時30分)

テーマ 「災害記録の後世への伝承とその諸問題  
—震災記録誌編纂と災害資料収集の現場から—

報告者 瀬戸 真之 氏 (福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授)

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」  
大活動室1 MAXふくしま4F(福島市曾根田町1-18)

第129回(2018年6月7日(木) 18時30分～20時30分)

テーマ 「福島県の森林林業の現状と課題について」

報告者 松本 秀樹 氏 (福島県森林組合連合会 代表理事専務)

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」  
大活動室1 MAXふくしま4F(福島市曾根田町1-18)